

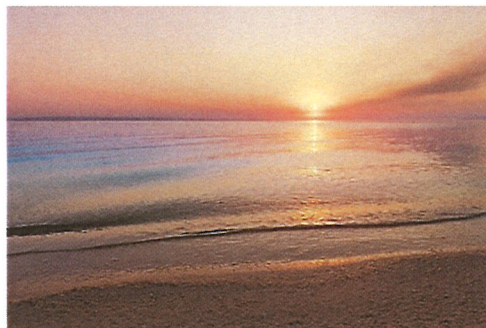
2025年(令和7年)年頭所感

一般社団法人全国高圧ガス容器検査  
会長 小新達彦

新年あけましておめでとうございます。

皆さまには旧年中、LPガス業界および容器検査に多大なるご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

2025年約481万本の容器検査が予定されており、これは前年と比較して約98%の微減と見込まれています。一方で、2026年には再び増加に転じ、前年比106%の水準に達すると予想されており、業務量の変動に備えた体制の整備が重要となります。これに伴い、容器検査の効率化と質の向上を一層推進し、業界の信頼性向上に努めてまいります。



「保安なくして未来なし」と言われるように、LPガス業界の最大の使命は保安の確保です。当協会は、高圧ガス保安法を遵守し、労働安全衛生法をはじめとする規制の改訂に迅速かつ適切に対応するとともに、最新情報を業界内で広く共有し、安全性の確立に向けた取り組みを続けてまいります。

2025年の重点課題として、以下の取り組みを掲げます。

1. 規制改訂への迅速対応と情報提供: 法改正や規制変更に伴う業界の対応力を強化します。
2. 効率的な検査体制の構築: 検査本数の増減に柔軟に対応できる仕組みを整備します。
3. 保安のさらなる浸透: 啓発活動を通じて業界全体の安全意識向上を図ります。

LPガスは、私たちの日常生活を支える重要なエネルギーであると同時に、災害時にも社会を支える存在です。その信頼性の基盤は、安全な容器検査によって支えられています。これからも、全力でその責務を果たしてまいります。結びに、本年が皆さまにとって実り多き一年となることを祈念し、引き続きのご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。